

地方創生交付金事業

有識者会議委員による 効果検証結果、事前質問及び 担当課による回答

地方創生交付金事業

- | | | |
|--------|---|-------|
| 事業No.1 | モノづくり集積地SUWAのヒトづくりプロジェクト
(SUWAモノ・ヒトプロジェクト) | …1ページ |
| 事業No.2 | Let's Go 「大人心くすぐる」
使ってみたくなるブランドづくりプロジェクト | …3ページ |
| 事業No.3 | 歴史・文化の学びを支える博物館整備事業 | …5ページ |
| | 地方創生臨時交付金事業 | …7ページ |

諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議
地方創生交付金事業 効果検証シート取りまとめ結果一覧

No.	1	担当課	商工課
交付対象事業名	モノづくり集積地SUWAの ヒトづくりプロジェクト (SUWAモノ・ヒトプロジェクト)	交付金の種類	地方創生推進交付金

【担当課による効果検証結果】

事業効果	③地方創生に効果があった
今後の方針	②事業内容の見直し（改善）

【有識者会議委員による効果検証】

委員	事業効果	今後の方針	判断理由等
A	③	②	③でも良いと思いますが、課の方針が②でしたので、②にします。169名の卒業生が、地域内企業に就職を決めて下さったのは、うれしく思います。感染症の影響も多少あるかもしれませんが、諏訪圏域の企業の良さが伝わってきているのでは…と私は考えます。人材育成は、すぐに結果がでるものではないので、粘り強く進めていく事業だと思えます。企業の需要に寄り添った人材育成は大事だと思えます。
B	③	②	就職に関しては、コロナの影響もあり、選択肢が少なかった可能性もあるが、地元で就職して良かったと思える職場の環境や、まちの環境づくりが大事に思う。小型ロケットも夢のあるプロジェクトで、ものづくり技術の向上や、人材育成の入口としては良いと思うが、技術を活かせる場の拡大や、需要のある商品開発、また、工業技術だけでなく、伝統工芸技術等の伝承も大切に感じる。
C	③	②	工業メッセがリアルで開催されなかった訳だが、リアル以外のWEB等活用の推進を更に深化してほしい。
D	③	③	とても大事な取り組みだと思えます。工業×SUWAブランド＝まちの発展となるように今後、期待いたします。
E	②	①	-
F	③	②	諏訪圏域の高校卒業生への就職促進により、若年層の地域定着に貢献している。産業界におけるデジタル化の流れを鑑み、DX人材の育成支援に取り組んでいただき、生産性の向上を目指していただきたい。
G	③	②	5～6割程度達成したため。
H	③	②	所管課が指摘するように、KPIが達成できておらず、事業の見直しが必要である。
I	③	②	・新卒等の地域内企業の就職者の目標上回りは地域の持続可能な発展の面からも効果ありと判断。 ・将来を担う若者がものづくりの魅力を感じ取ってもらう具体的な取組みも検討したい。（企業訪問、体験学習等）
J	③	③	若年層がモノづくりにもっと興味関心を持つ取り組みを増やして事業を継続して行ってほしい。
K	③	②	・諏訪地域の高卒就職のうち、諏訪圏域の就職が169名とあるが、今後もこのKPIを続けるのでしょうか。そもそも高卒の採用にお金はかかっていないはず。商工会議所の労務対策協議会に属している企業の新卒採用の人数を集計して出す数字を出していただく方が現実味があると思えます。 ・人材育成や採用にこだわることも必要だとは思いますが、ベンチャー企業の誘致に注力してみたらいいのでは？国もスタートアップの支援や起業家教育にも力を入れているようですので是非検討してください。
L	①	③	各PJの内容から、活動の有効性の評価ができる。各団体、個人の連携により「学びの場」が醸成されている。
M	②	②	コロナ禍とはいえ、これだけの数字が残されることは、大変素晴らしいことだと思います。小中学生の関心も高まり、一段上の評価にしました。諏訪の企業がコロナ禍の中で、業績が上がっていることも、この積み重ねの強みだと思います。
N	③	②	-

【全体集計結果】

事業効果	①	1	②	2	③	11	④	0
------	---	---	---	---	---	----	---	---

①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果があった
 ③地方創生に効果があった ④地方創生に対して効果がなかった

今後の方針	①	1	②	10	③	3	④	0	⑤	0
-------	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---

①追加等更に発展させる ②事業内容の見直し（改善） ③事業の継続
 ④事業の中止 ⑤予定通り事業を終了

有識者からの事前質問	担当課からの回答
Webの発信をもっとすべき。他者のまきこみが重要。	<p>諏訪圏ものづくり推進機構では、これまで作成してきた「企業のひとつぎ」をプラットフォーム化（WEB更改）し、ビジネスチャンスの拡大を図っております。また本事業を有機的に連携させ、販路開拓支援、シーズ・ニーズマッチング支援、魅力創出と発信を通じた若年層の呼び込み等も一体的に取り組む「地域商社機能」の構築を図る予定であります。</p>
<p>新卒、第2新卒者（UIターン含む）の地域内企業への就職者数をKPIにしているが、R3の実績169人は高校卒業生と記載があるのでUIターンの就職者は0人だったのか。</p>	<p>UIターン者などの就職者数は、直接企業や個人を対象に大規模な調査依頼を行わなければならないため、数字として把握できておりません。（回答の有無によっては、データにばらつきが生じる可能性もございます。） 高校新卒者の地域内就業者数は、本事業で実施する地域内の学生向けのセミナーや情報発信等に対するKPIとしての因果関係が強いと考え、また教育機関で確実に把握しているデータであることから、この値を採用しております。</p>

担当課コメント
<p>諏訪地域の産業集積の強みを更に鍛え上げ、「稼ぐ力」を向上させていくためには、医療・ヘルスケア・航空機関連など成長分野へ参入し、事業を多角的に展開するなどの経営基盤強化が重要と考えております。</p> <p>企業の持続的成長、産業集積地という強みを維持・強化する上では、原動力となる人材の育成・確保も重要であります。若年層からもものづくり人材育成・キャリア教育・ものづくり体験の機会創出を面的に実施し、ものづくりへの関心の醸成を広域的に波及させていくとともに、関係人口の創出を通じた新たな人材確保につなげていく必要があると考えております。</p>

諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議
地方創生交付金事業 効果検証シート取りまとめ結果一覧

No.	2	担当課	産業連携推進室
交付対象事業名	Let's Go 「大人心くすぐる」 使ってみたくなるブランド づくりプロジェクト	交付金の種類	地方創生推進交付金

【担当課による効果検証結果】

事業効果	①地方創生に非常に効果的であった
今後の方針	③事業の継続

【有識者会議委員による効果検証】

委員	事業効果	今後の方針	判断理由等
A	①	③	様々な新たな企画があり、どれも魅力的です。また、次への意欲も感じられ今後の事業へも期待します。産業観光まちづくり大賞おめでとうございます！！
B	①	③	デザインプロジェクトに関しては、地元色を活かしつつ、様々な業種や人の連携が見られ、地元民も興味がわくプロジェクトが進んでいるように感じる。SUWAプレミアムの販路に関しては、オンラインの効果はあり、外向きのPRは進んでいると思うが、地元民の認知を広げ、誇れる技術や商品として捉えてもらえるよう、商店街での小規模イベントや、商店に置けるカタログや、ポスター等を配布し、興味を持ってもらえる環境を作る事も必要と感じる。
C	①	③	SUWAプレミアムの製品現物を、地元で市民が目にする機会をどうつくるかが課題の様思う。ギフトとしてではなく、市民が、あたり前に使用する商品にならないか。
D	②	③	SUWAブランドの認知度を更に上げて、新規企業、団体の参加を推進していく必要があると考えます。広報活動に力をいれてはどうでしょうか。
E	①	①	-
F	①	③	コロナの影響を受けつつも、オンライン販売を活用した商品販売を行い、地域の認知度向上に貢献している。今後も新商品開発を活性化し、いずれは観光につながる展開を期待する。
G	①	③	目標値を上回った指標がいくつかあったため。
H	①	③	KPIでも、ブランドづくりに相当程度の効果をあげており、今後の発展が期待できる。新型コロナの下での悪条件にもかかわらず、健闘した。
I	①	③	・認知度も上がり多くの項目でKPIを上回る成果が得られている。 ・リアル、オンライン等様々なツールを活用してSUWAブランドを積極的に発信し、地域活力の向上につなげていく必要がある。
J	②	③	地域内でもまだまだ「SUWAプレミアム」を知らない人もいますので、地域ブランドとして更に発展させてもらいたい。
K	①	③	自走での事業継続、という認識であってますか？でしたら賛成ですし継続して頑張ってください。
L	①	③	内容から活動の有効性の評価ができる。各団体の連携により「学びの場」が醸成されている。
M	①	③	東京理科大学の生徒と話していると、その企業の理解が進んでない感じが見受けられます。大きく売り上げが伸びていることではないと思いますが、諏訪を売り込むチャンスでもあります。ただ、じっくり構えることも必要でもあり、新しいものだけにとびつく事はいかがかなと素人ながら考えます。
N	①	③	-

【全体集計結果】

事業効果	①	12	②	2	③	0	④	0
------	---	----	---	---	---	---	---	---

①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果があった
 ③地方創生に効果があった ④地方創生に対して効果がなかった

今後の方針	①	1	②	0	③	13	④	0	⑤	0
-------	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---

①追加等更に発展させる ②事業内容の見直し(改善) ③事業の継続
 ④事業の中止 ⑤予定通り事業を終了

有識者からの事前質問	担当課からの回答
<p>質問ではないですが…SUWAデザインプロジェクトのホームページ下の諏訪市小中学校ポータルサイトへのリンクが機能していないのが残念です。また、教育総務課での学校の情報が昨年のものでした。</p>	<p>ご指摘いただきました「SUWAデザインプロジェクト」のホームページですが、こちらでも確認したところ小中学校ポータルサイトへのリンクは機能しており、また市ホームページ内教育総務課の学校の情報も、令和4年度の内容がアップされていました。お手数ですがご覧いただければと思います。今後も、デザインプロジェクトサイトにて、市内事業者の魅力や活動を発信して参りますので、引き続きサイトを訪問いただきますよう宜しくお願いします。</p>
<p>Webの発信をもっとすべき。他者のまきこみが重要。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。Webを通じた発信についてですが、以前より担当係でも課題と認識していきまして、令和元年度事業において「SUWAデザインプロジェクト」専用サイトを立ち上げ、令和2年度より市内事業者の魅力や様々な活動をPRするための展開をしています。また、「SUWAプレミアム」につきましても、令和2年度事業として専用ホームページのリニューアルやPR動画の作成等を実施しました。両者とも、さらに発信力向上に結びつくよう、ご指摘のように関係者も巻き込んだ展開をできればと考えています。</p>
<p>今まで開発したものの反省はどのような事があるのでしょうか？</p>	<p>「産業連携事業補助金」を通じて開発された商品が、新たに「SUWAプレミアム」の認定商品となるケースも増えていきます。ですが、認定されたとしても、それが売上げ増加に直結した効果を生むのか、また、プレミアムを象徴するような認定品（いわゆる「キラークンテンツ」）の開発が望まれる、等の声も寄せられています。</p>

担当課コメント
<p>産業連携推進室の事業に対し、多くの委員の皆様方より高い評価や好意的なご意見をお寄せいただき、担当としまして光栄に感じるとともに感謝申し上げます。一昨年度に続き、昨年度も新型コロナウイルス感染の影響を受けたところですが、関係者の創意工夫により様々な事業を展開することができました。今後ですが、その活動が地域の皆様にも浸透し、地元の中から新たな連携者や協力者の参加に繋がるような活動にできればと考えています。また、これまで外部クリエイターに頼っていたプロジェクトの進行でも、地域内のクリエイター等が新たな担い手として参画しています。自走での事業の継続に向け、地域人材とともに既存の地域資源にも目を配りながら、さらなる発展を目指して参ります。</p>

**諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議
地方創生交付金事業 効果検証シート取りまとめ結果一覧**

No.	3	担当課	生涯学習課
交付対象事業名	歴史・文化の学びを支える 博物館整備事業	交付金の種類	地方創生拠点整備交付金

【担当課による効果検証結果】

事業効果	③地方創生に効果があった
今後の方針	③事業の継続

【有識者会議委員による効果検証】

委員	事業効果	今後の方針	判断理由等
A	③	③	オンラインでの開催は、多くの方に視聴して頂けるので有効だと思います。今後も続けて頂けると講座に参加できない方でも視聴できて良いかと思います。少し視聴しましたが、諏訪の歴史は奥深く、おもしろいかも！！と私の知らない諏訪にふれることができました。市民からの様々な質問に回答し、学びをサポートされている事も持続的な学びになっていると思います。
B	③	③	コロナ禍で、来館数の減少は仕方ない中で、オンライン講座の取り組みは、広く参加者を増やす効果があったと思われる。しかし、アクセス数は多くても、最後まで視聴してもらえているとは限らず、内容は充実しているが、1回の時間が長く感じる。オンラインの良さを活かして、写真等の資料だけでなく、実際の現場で動きのある映像を取り入れるなど、その場に行ってみたいと思わせる番組構成ができると、より効果的に多くの世代に発信できるのではないかと思う。
C	③	③	博物館というより、大昔情報センター、大昔調査会が、非常に存在感を増してきて、たのしみです。自分の郷土・ルーツを知り、愛することが、地方創生の原点かと思っています。
D	②	③	-
E	①	①	-
F	③	③	コロナの影響を受けるなか、御柱祭や日本遺産など地域の歴史を様々なコンテンツで提供することで、地域を知る機会を創出し、発信している。引き続き情報発信を行うことで、住民の郷土愛を育むことに期待する。
G	③	③	5～6割程度達成したため。
H	③	③	KPIを達成することはできなかったが、新型コロナの影響が大きく、それにもかかわらず、健闘した。ポスト・コロナでの今後の展開に期待したい。
I	③	③	コロナ禍においてもオンライン活用等により市民の学びをサポートし、諏訪市の自然や歴史文化に触れる機会の創出に寄与している。地域を学び知ることは郷土愛を増幅し、地域活性化につながるものであり、継続する意義は大きい。
J	③	③	引き続き事業を継続して、歴史を通じて諏訪の魅力を発信して頂いてもらいたい。
K	①	③	熱狂的な方々が集う場所として今後もニーズがあると思います。コミュニティも存在するのでしょうか？YouTubeに限らないコミュニティの発信も観光に繋がりますね。
L	①	③	内容から活動の有効性の評価ができる。各団体の連携により「学びの場」が醸成されている。
M	③	③	諏訪の歴史をもっと知りたい地元の人が多いと思います。諏訪地方の中心で高岳域があり、近隣の市町村とは比べられない地域でもあります。私の回りには、一息ついたら、諏訪の歴史を知りたい気持ちになったと言う人が多いです。
N	③	③	-

【全体集計結果】

事業効果	①	3	②	1	③	10	④	0
------	---	---	---	---	---	----	---	---

①地方創生に非常に効果的であった ②地方創生に相当程度効果があった
③地方創生に効果があった ④地方創生に対して効果がなかった

今後の方針	①	1	②	0	③	13	④	0	⑤	0
-------	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---

①追加等更に発展させる ②事業内容の見直し（改善） ③事業の継続
④事業の中止 ⑤予定通り事業を終了

有識者からの事前質問	担当課からの回答
Webの発信をもっとすべき。他者のまきこみが重要。	博物館では、平成30年度にホームページをリニューアルし、すわ大昔情報センターの図書等博物館資料を検索できるシステムを構築し、またフェイスブックでも企画展やすわ大昔フォーラムの開催予告を行うなど、Webでの発信に取り組んで来ているが、今後は発信回数を増やしたり、より多くの人目に触れるように、SNSで情報を拡散してもらうためのサポーター作りなど、より戦略的な試みを行っていきたいと思います。
神仏プロジェクトがいよいよ始まりますが、日本ではめずらしい企画ですので、諏訪圏域を巻き込むよう、行政にもお願いしたいと思えます。	神仏プロジェクトは、すわ大昔情報センターの運営委託先の大昔調査会が事務局でもあり、博物館もプロジェクトの参加団体として参画し、諏訪神仏一斉公開の期間に企画展の開催を予定しています。諏訪圏域の神宮寺ゆかりの文化財が同時期に公開されることは、諏訪の歴史文化を守り伝える役割を担う行政にとっても大変重要な機会となりますので、諏訪地域の文化財を歴史愛好家や観光客のみならず、あらためて地元の皆さんにも知っていただく貴重な機会としてとらえています。一方で、今回のプロジェクトは諏訪の観光振興の意味合いが大きいため、博物館の神仏習合を紹介した展示コーナーをアピールするなど、観光的視点からも圏外からの来訪者を巻き込むため、秋の開催に向けて情報発信を行いながら準備を整えていく予定です。

担当課コメント
すわ大昔情報センターの事業については、コロナ禍での取り組みが課題でしたが、駅前交流テラスすわっちゃオとの協力でオンライン講座「御柱と諏訪信仰」を開催し多数の視聴回数を得られたことは、大きな収穫であり効果があったと言えます。諏訪の考古歴史について、毎回レベルの高い内容を定期的に提供するフォーラムは大変ニーズが高いため、今後も状況に応じて効果的な実施方法を検討したいと思います。御柱祭などの影響により、圏外からの諏訪への関心が急速に高まり、すわ大昔情報センターへの来館、問合せが増える状況が見られますが、一方で、地元の方や子ども利用を増やすことが課題としてあります。今後はセンターから諏訪の歴史の魅力を多角的な視点から発信し、学びが実践や体験につながるような試みを工夫する必要があると考えています。

諏訪市まち・ひと・しごと創生有識者会議
 地方創生臨時交付金事業 **質問・意見一覧**

有識者からの事前質問・意見	回答・コメント
<p>【事業年度：2年度・事業番号：8】 例えば、市内の建設業者が市より工事を受注し、契約の添付書類に「未納のない証明書」の提出があるが、窓口に行くことなく、本来オンラインでチェックできないか。</p>	<p>技術的には可能ですが、税情報を保有する課と契約を担当する課が異なるため、個人情報保護条例による制約があり、事業者からご提出いただくこととしています。今後の自治体DXの課題の1つとして検討させていただきます。</p>